

## パセリのアルタナリア病（新称）

平成 23 年 6 月、北斗市のパセリ苗で葉柄基部が褐変腐敗する症状が発生した。形態および GAPDH 遺伝子, RPB2 遺伝子および TEF1 遺伝子の塩基配列による分子系統解析に基づき、分離菌を *Alternaria petroselini* (Neerg.) E.G. Simmons と同定した。我が国では、静岡県において *A. petroselini* によるパセリの葉身の斑点性病害（病名未提案）が報告されており、両者の異同が不明のため病名未提案であった。今回、静岡菌と北斗菌について、形態・塩基配列・パセリの葉身および葉身基部に対する病原性を比較し、両者が同一病害であることを確認したため、両症状をアルタナリア病と呼称することを提案した。

（道南農試）



パセリのアルタナリア病（道総研本部 三澤 原図）